

ミナトホールディングス株式会社  
2022年3月期 第3四半期決算説明資料

2022年2月10日（木）

デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

<https://www.minato.co.jp/>

MINATO

証券コード 6862

# CONTENTS

- ① 2022年3月期 第3四半期決算ハイライト
- ② 2022年3月期 第3四半期連結業績概要
- ③ セグメント別売上高／営業利益
- ④ ミナトグループの成長戦略
- ⑤ appendix

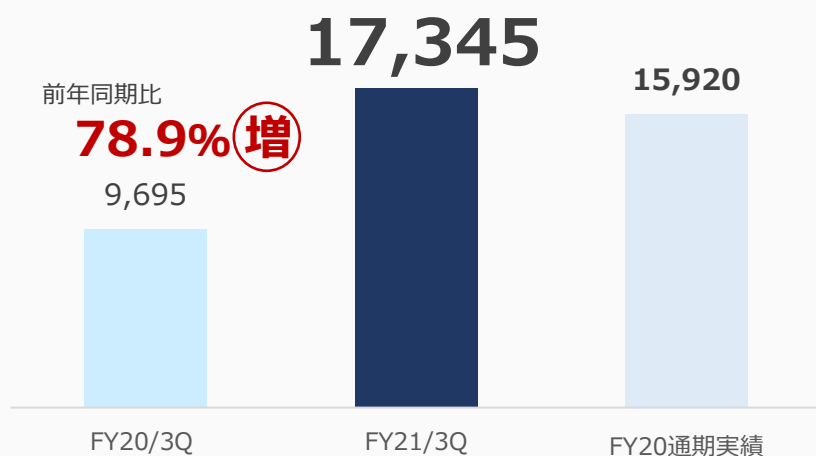
# 2022年3月期 第3四半期決算ハイライト①

## 売上高は3Qとして過去最高を更新 利益水準も好調に推移

- メモリーモジュール事業の好調が全体を牽引。  
売上高／営業利益／経常利益は前年通期実績を上回る

### 第3四半期売上高

(単位：百万円)



### 第3四半期利益

(単位：百万円)

	FY20/3Q	FY21/3Q	FY20通期実績
営業利益	△17	480	220
経常利益	△81	486	199
親会社株主に帰属する 四半期純利益	169	398	467

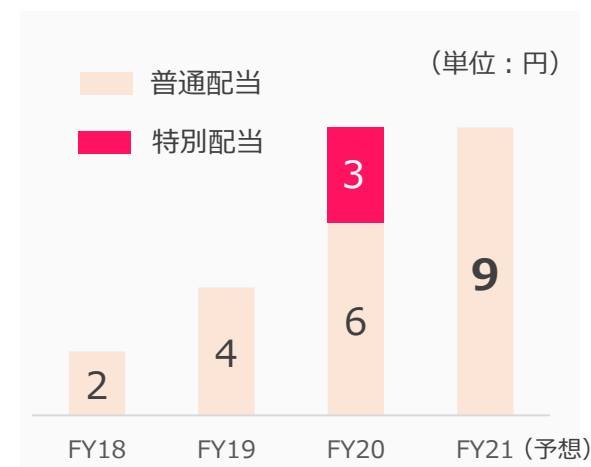
# 2022年3月期 第3四半期決算ハイライト②

## 年間配当予想を6円→9円に修正 株主還元策として自社株買いも継続実施

### 配当予想の修正

	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (21年5月発表)	—	6円00銭	6円00銭
<b>今回 修正予想</b>	—	<b>9円00銭</b>	<b>9円00銭</b>
前期実績 (2021年3月期)	0円00銭	普通配当 6円00銭 特別配当 3円00銭	9円00銭

### 配当の状況



### 自己株式取得決議の内容 (2022年2月10日取締役会決議)

取得期間	取得株式数	取得額
2022年2月14日～7月30日	普通株式 12万株 (上限)	8,000万円 (上限)

# 2022年3月期 第3四半期決算ハイライト③

## 通期業績予想に対する進捗は順調

### 業績の状況

(単位：百万円)

	当初の 通期業績予想 ※21年5月時点	通期業績予想 ※21年10月修正	FY21/3Q 実績	進捗率 (%)	<ご参考> 前期実績
売上高	20,000	22,000	17,345	78.8	15,920
営業利益	270	540	480	88.9	220
経常利益	240	510	486	95.3	199
親会社株主に帰属する 当期純利益	200	400	398	99.5	467

## 2021年12月に 株式会社エクスプローラを連結子会社化

※当社議決権所有割合:99.62%

# Explorer

**画像・音声処理システム開発における  
高い技術力がコア！  
エレクトロニクス設計事業を手掛ける**

- 設立 1992年3月25日
- 所在地 北海道函館市桔梗町379-22  
函館テクノパーク内
- 従業員数 46名
- 業績 売上高 519百万円 (2021年12月期)



### 事業内容

ソフトウェア/ハードウェアの設計・製造  
自社製品設計・製造(コーデック製品等)  
ODM/EMS (開発設計製造)



## 2022年3月期 第3四半期 連結業績概要

# 連結業績概要① / 損益計算書 (2021年4月1日～2021年12月31日)

メモリー製品の旺盛な需要、新規プロジェクトの順調な進捗等により、メモリーモジュール事業、デバイスプログラミング事業が牽引し、大幅な増収増益を達成

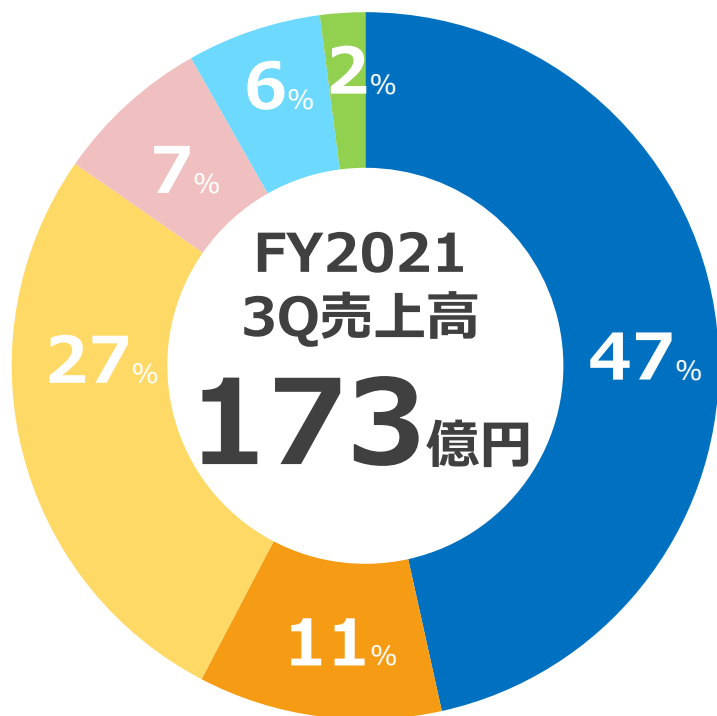
(単位：百万円)

	FY20/3Q	FY21/3Q	増減額	増減率 (%)
売上高	9,695	<b>17,345</b>	7,650	78.9
売上総利益	1,457	<b>2,928</b>	1,471	100.9
販管費	1,475	<b>2,448</b>	972	65.9
営業利益	△17	<b>480</b>	498	—
営業外損益	△63	5	69	—
経常利益	△81	486	567	—
特別損益	288	22	△265	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	169	398	229	135.0



# 連結業績概要② / セグメント別売上高 (2021年4月1日～2021年12月31日)

## 各セグメントの売上割合



## セグメント別の売上高

(単位：百万円)

メモリーモジュール	<b>8,153</b>
テレワークソリューション	<b>1,951</b>
デジタルデバイス周辺機器	<b>4,733</b>
デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション	<b>1,247</b>
システム開発	<b>1,076</b>
その他	<b>360</b>

# 連結業績概要③ / セグメント別営業利益 (累計)

(2021年4月1日～2021年12月31日)

メモリーモジュール事業の大幅増益とともに、デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業の業績が大きく回復。一方、デジタルデバイスは部材調達に係る製品コストの上昇等により赤字継続

(単位：百万円)

営業利益	FY20/3Q	FY21/3Q	増減額
メモリーモジュール事業	289	490	200
テレワークソリューション事業 <sup>※</sup>	—	69	69
デジタルデバイス周辺機器事業 <sup>※</sup>	—	△93	△93
デバイスプログラミング・ ディスプレイソリューション事業	△77	320	398
システム開発事業	44	69	24
その他事業	△5	△14	△9
全社費用	△318	△360	△42
<b>営業利益</b>	<b>△17</b>	<b>480</b>	<b>498</b>

※テレワークソリューション・デジタルデバイス周辺機器の両事業につきましてはFY20/3Qから連結の範囲に含めており比較が困難であるため、前年同期比を記載しておりません。

# 連結業績概要④／貸借対照表

パイオニア・ソフト連結と、メモリーモジュール事業及びデジタルデバイス事業での売掛金及び在庫高が増加し総資産が拡大

(単位：百万円)

	21/3末	21/12末	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	10,138	12,496	2,358
現金及び預金	2,382	2,580	198
売上債権	3,504	4,217	713
商品及び製品	2,412	3,353	940
原材料及び貯蔵品	789	1,077	288
前渡金	86	231	145
固定資産	2,486	2,425	△ 61
有形固定資産	1,334	1,353	19
無形固定資産	283	282	△ 0
（うち、のれん	238	249	11)
投資その他の資産	869	789	△ 80
（うち、投資有価証券	429	240	△ 188)
（うち、関係会社株式	1	0	△ 1)
繰延資産	0	-	△ 0
<b>資産合計</b>	<b>12,625</b>	<b>14,922</b>	<b>2,297</b>

<b>商品及び製品、原材料及び貯蔵品</b>	
メモリーモジュール事業	+363百万円
テレワーク・デジタルデバイス	+582百万円
デバイスプログラミング事業	+60百万円
エレクトロニクス設計事業	+84百万円

<b>前渡金</b>	
メモリーモジュール事業	+107百万円
デバイスプログラミング事業	+36百万円

<b>有形固定資産</b>	
デバイスプログラミング事業	+151百万円
土地建物売却	△112百万円

<b>無形固定資産</b>	
パイオニア・ソフトのれん	+35百万円
のれん償却	△24百万円

<b>投資その他の資産</b>	
パイオニア・ソフト敷金他	+32百万円
投資有価証券売却・時価評価等	△188百万円

# 連結業績概要⑤／貸借対照表

製品在庫確保のための資金需要とパイオニア・ソフト等子会社連結により短期借入金が増加。自己資本比率は24.3%(前期末比△2.8ポイント)

(単位：百万円)

	21/3末	21/12末	増減
<b>負債の部</b>			
流動負債	6,992	9,374	2,381
支払手形及び買掛金	1,424	1,989	565
短期借入金	3,540	5,320	1,780
1年以内返済長期借入金	610	480	△129
固定負債	2,113	1,853	△259
長期借入金	1,772	1,584	△188
<b>負債合計</b>	<b>9,105</b>	<b>11,228</b>	<b>2,122</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	3,347	3,541	194
その他の包括利益累計額	75	81	5
(うち、その他有価証券評価差額)	153	70	△82)
新株予約権	88	47	△41
非支配株主持分	7	23	16
<b>純資産合計</b>	<b>3,519</b>	<b>3,694</b>	<b>175</b>
<b>負債純資産 合計</b>	<b>12,625</b>	<b>14,922</b>	<b>2,297</b>

<b>短期借入金</b>	
ホールディングス	+1,600百万円
パイオニア・ソフト	+100百万円
エクスプローラー	+80百万円

<b>長期借入金</b>	
ホールディングス	+200百万円
パイオニア・ソフト	+13百万円
アイティ・クラフト	+30百万円
約定弁済等	△561百万円

<b>株主資本</b>	
当期純利益※1	+398百万円
株主配当	△69百万円
自己株式	△55百万円
利益剰余金※2	△82百万円

<b>その他包括利益累計額</b>	
利益剰余金への振替※2	+82百万円
有価証券評価差額	△82百万円

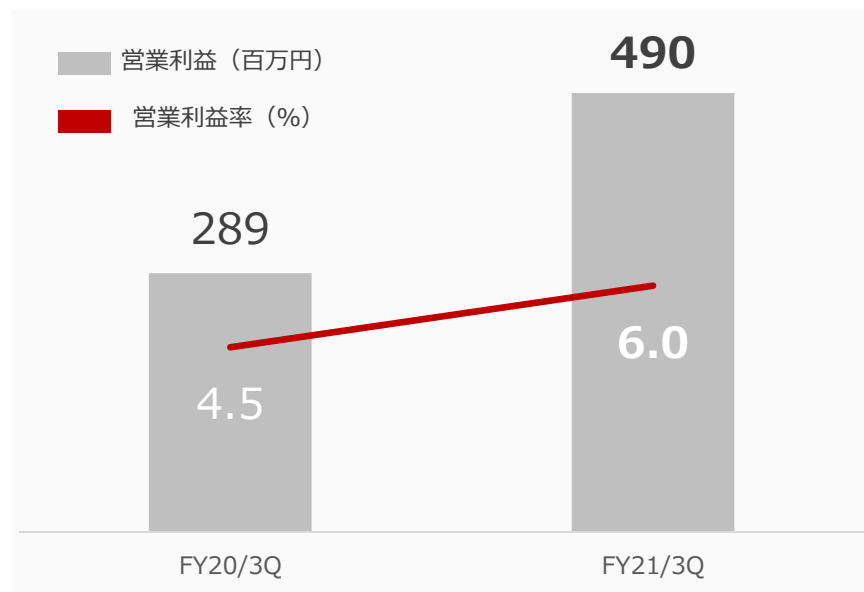
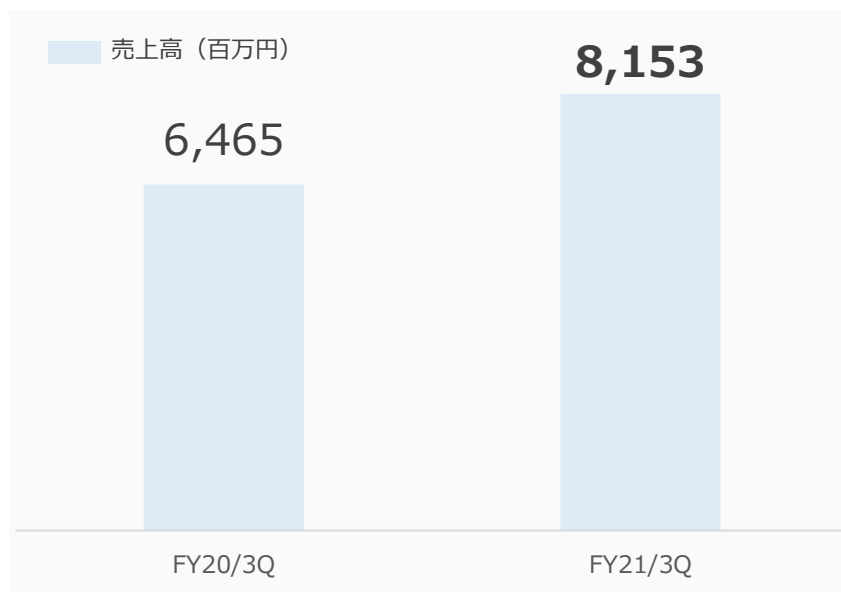
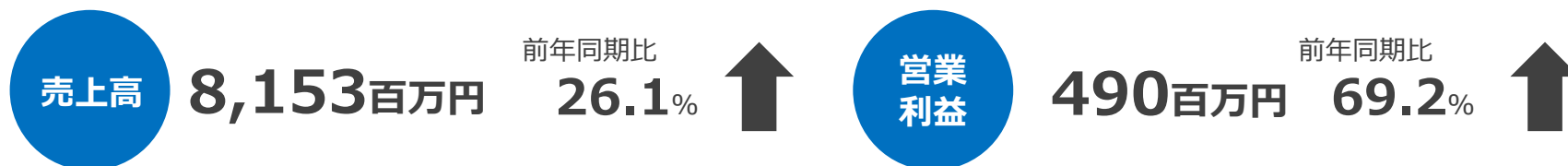
※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 同一事象に係る同額での振替処理

3

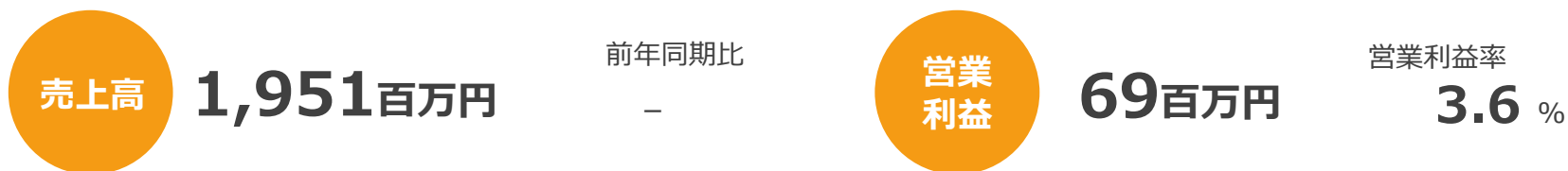
## セグメント別売上高／営業利益

世界的な半導体不足の影響で顧客企業による部材調達の方針は継続。利益率の高い産業用途向け自社メモリーモジュールをはじめ、メモリー製品の拡販が好調に推移し、増収増益



## テレワークソリューション事業

Web会議ライセンスのほかWebカメラなどの周辺機器販売は堅調に推移。一方、オフィス据え置き型のデジタル会議専用端末の受注鈍化に加え、半導体部品の需給ひっ迫による納期遅延が発生し、利益率は低下傾向



## デジタルデバイス周辺機器事業

液晶ディスプレイの需要が旺盛で売上高は伸長。一方、半導体不足の影響で各種部材の調達コストが上昇し、利益率は低調。需要が増加する年度末に向け改善策を講じる等、巻き返しのための営業施策を実施中



※両事業につきましてはFY20/3Qから連結の範囲に含めており比較が困難であるため、前年同期比を記載していません。

前年はコロナ禍による影響で落ち込んでいたデバイスプログラマ関連製品の受注が好調に推移。先行投資を行ってきたROM書込みサービスの稼働も順調に進捗

売上高

1,247百万円

前年同期比

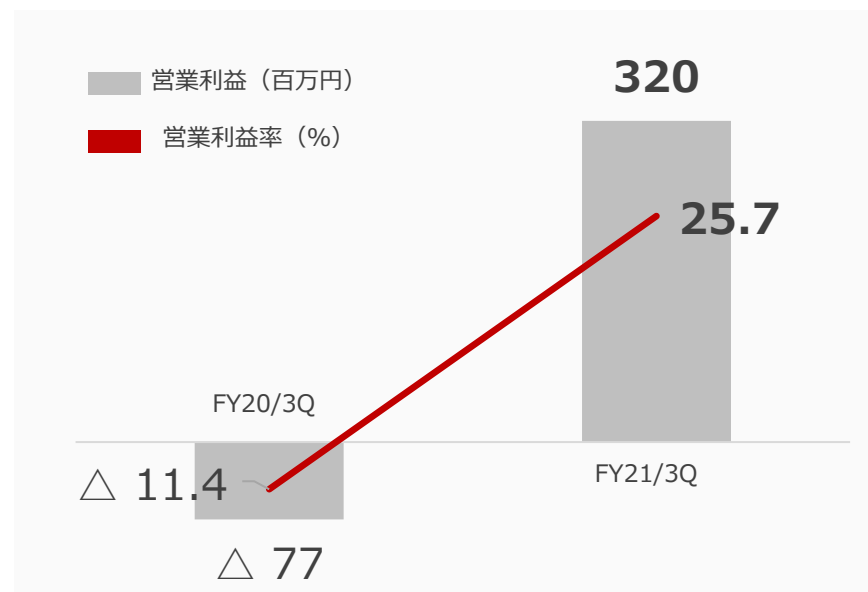
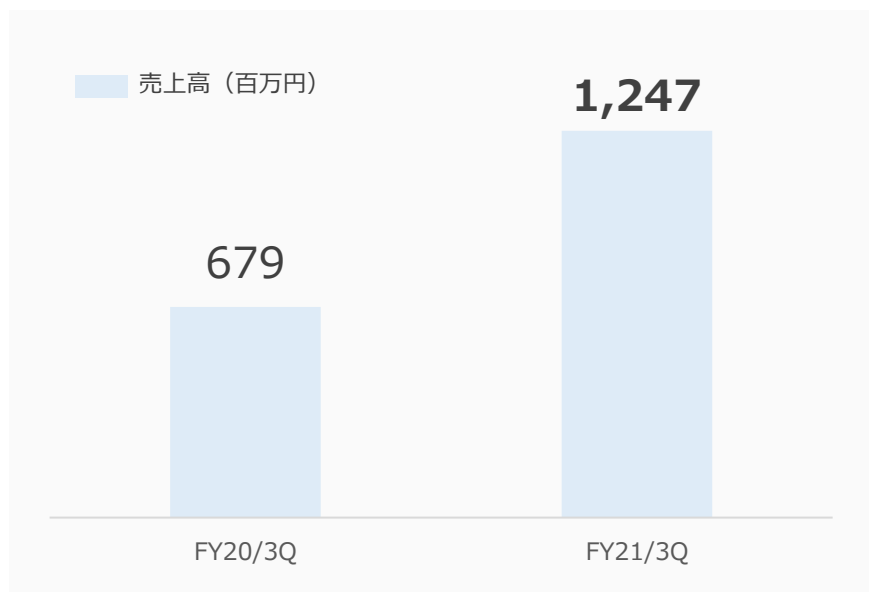
83.6%



営業利益

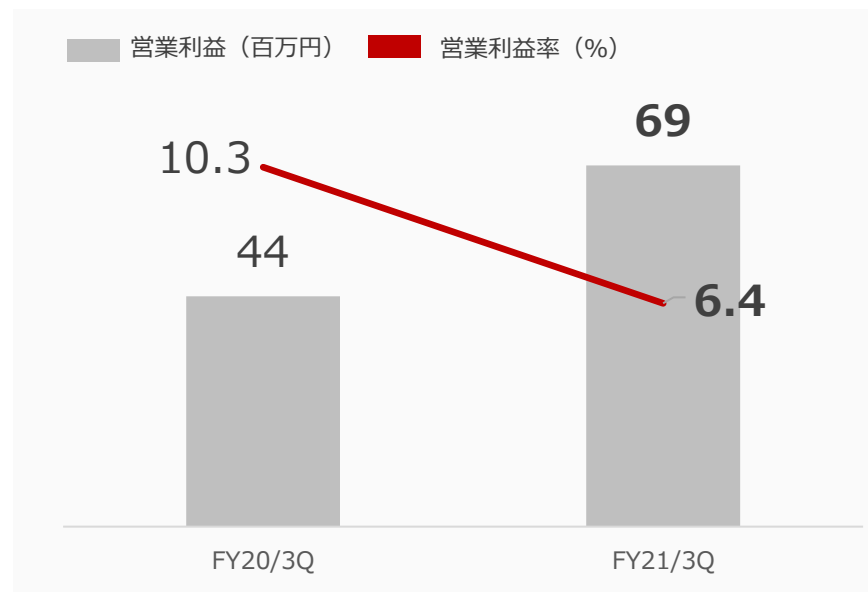
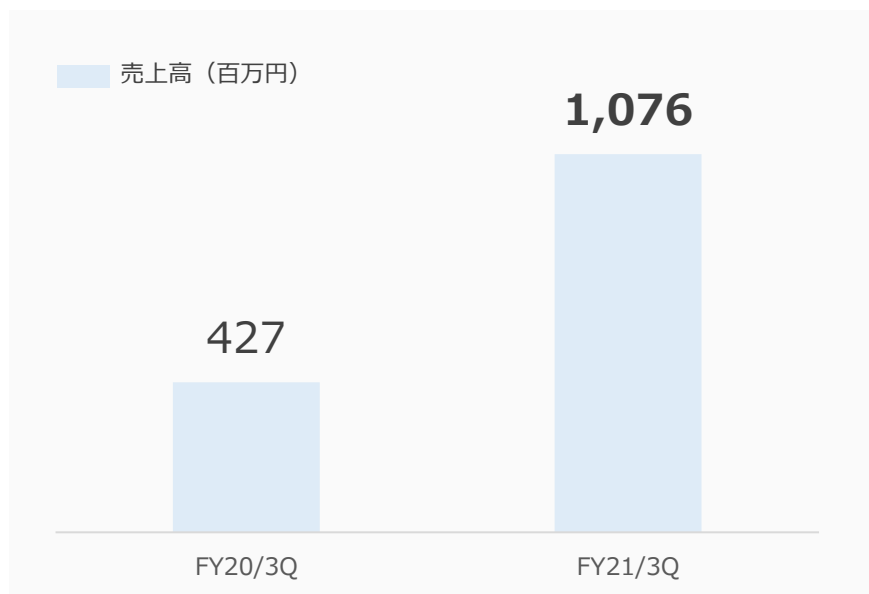
320百万円 + 398百万円

前年同期比





第2四半期から株式会社パイオニア・ソフトの業績を計上したことにより事業規模が拡大。技術支援型（人材派遣）案件では株式会社イーアイティーと営業協力等の協業が進み、シナジー創出を実現



## その他事業

グループ会社同士のシナジー効果等で売上高は拡大傾向。ISC事業※の量産型商品の出荷は、半導体不足による部品調達遅延の影響もあり来年度以降に持ち越しに。投資事業に係る評価減等により、損失拡大

※ ISC事業 = インテリジェント・ステレオカメラ



売上高

360百万円

前年同期比  
114.6%

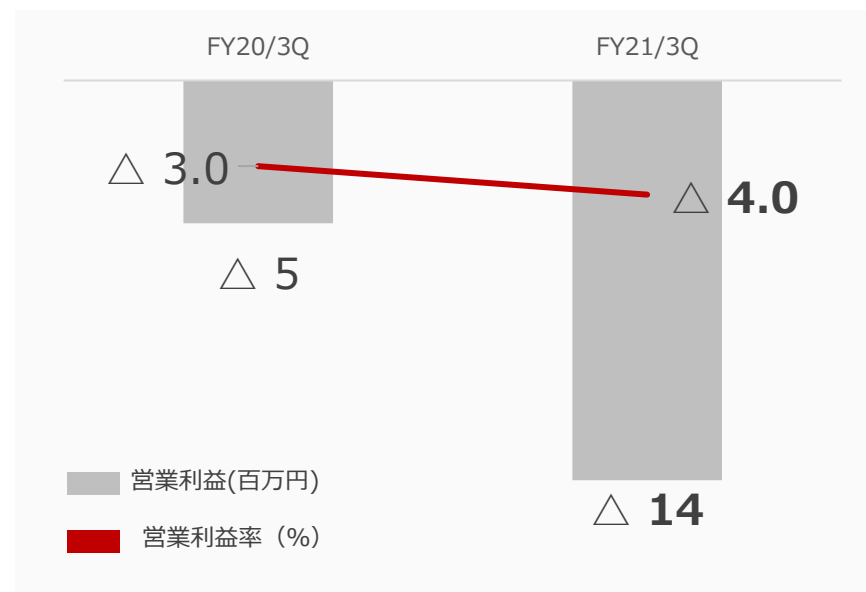
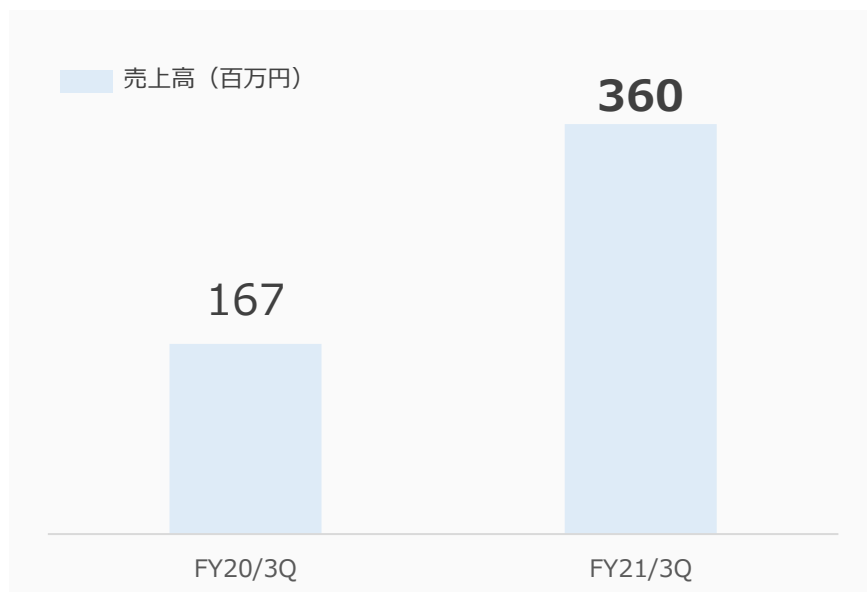


営業利益

△14百万円

前年同期比

△9百万円





## ミナトグループの成長戦略

# ミナトグループの成長戦略

ミナトホールディングスグループは

**デジタルコンソーシアム構想**

の実現を目指します。



# デジタルコンソーシアム（DC）構想とは…

**1**

デジタル分野に特化した技術力のある  
企業との提携、M&Aを実施

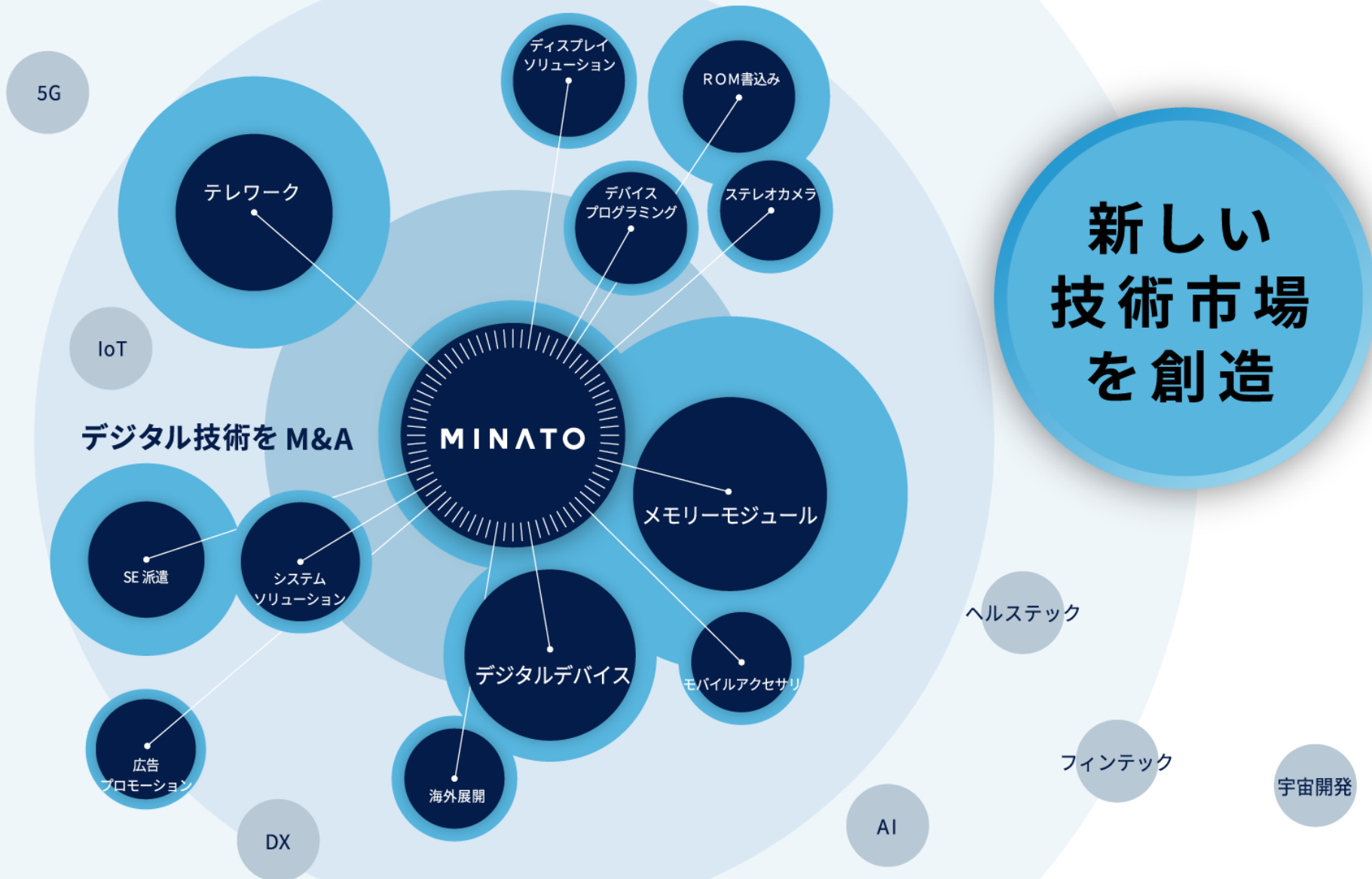
**2**

コンソーシアムの枠組みを強化することで  
シナジーを創出  
新しい製品やサービスの開発にも挑戦

**3**

新しい市場を開拓することで人や社会に  
貢献し、持続可能な未来を創造する

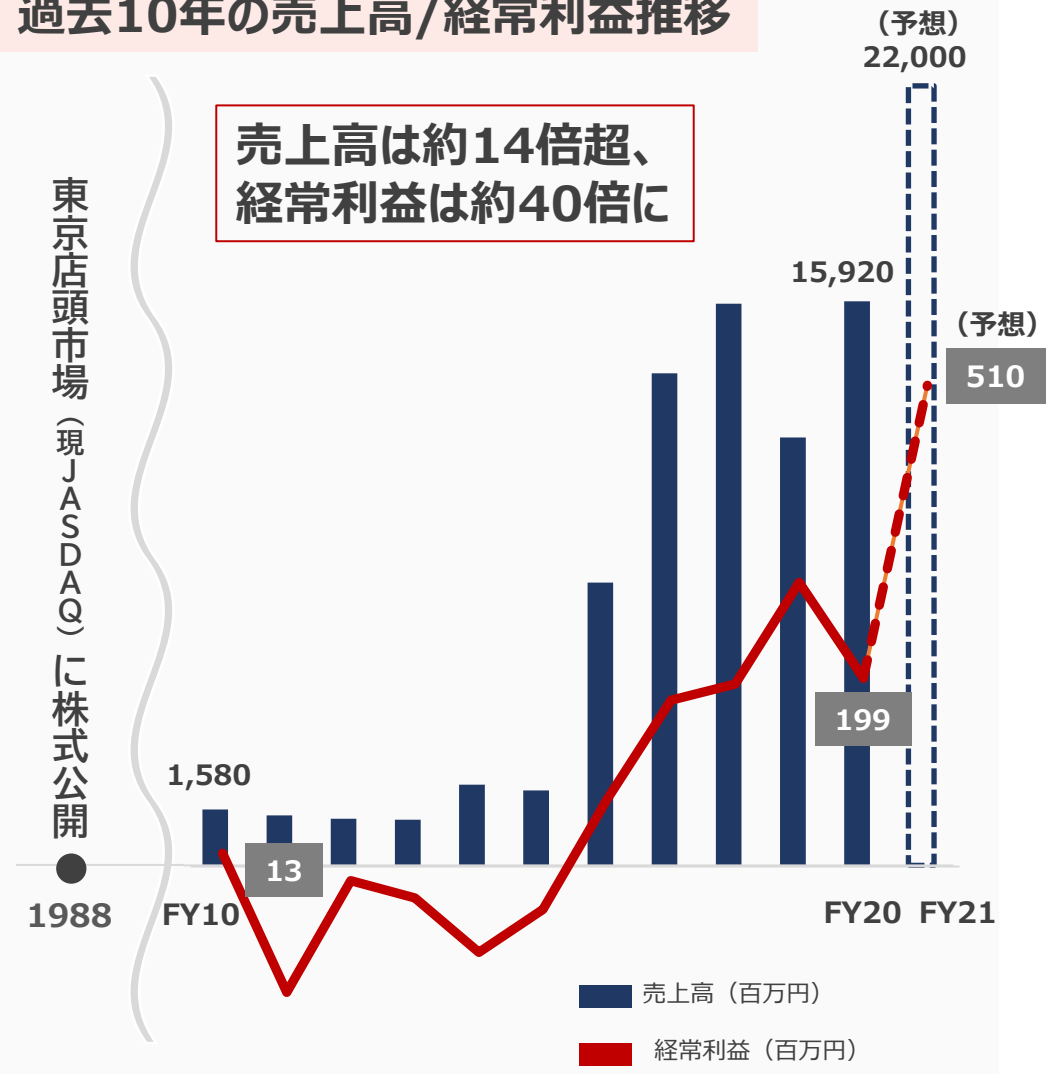
# DC構想イメージ図



# <ご参考> これまでのコンソーシアムの実績

グループ（国内）拡大の軌跡	
2014	イーアイティーを子会社化
2016	サンマックス・テクノロジーズを子会社化
2016	ミナト・フィナンシャル・パートナーズを設立
2017	日本ジョイントソリューションズを子会社化
2018	持株会社制に移行
2018	ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ営業開始
2020	ジー・ワーカーを連結子会社化
2020	プリンストンを子会社化
2021	アイティ・クラフトを子会社化
2021	パイオニア・ソフトを子会社化
2021	エクスプローラを子会社化

## 過去10年の売上高/経常利益推移





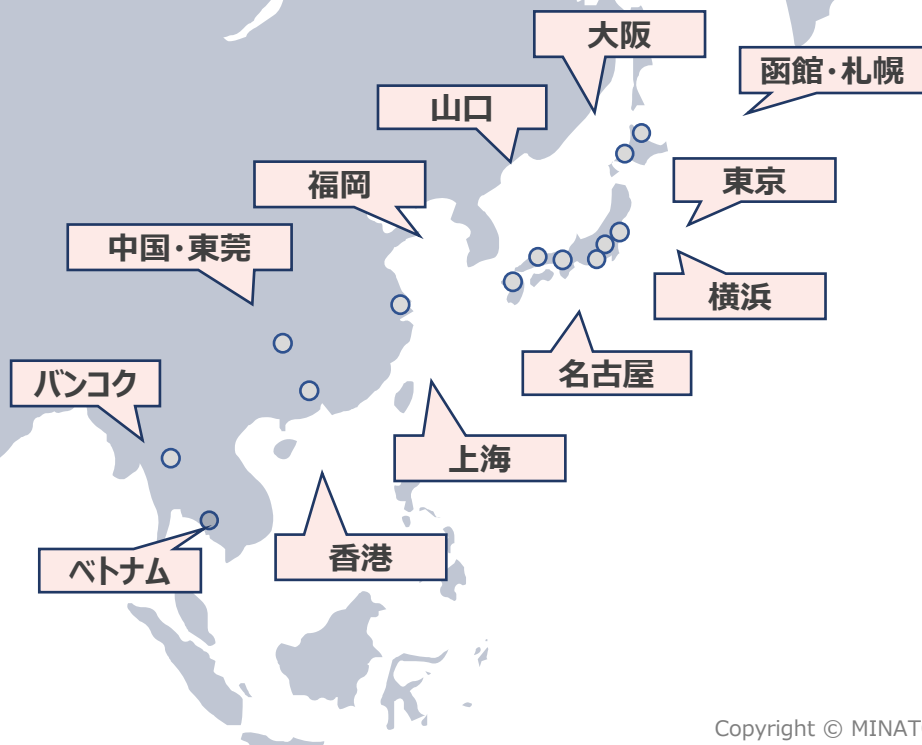
# appendix



# 会社概要

## ミナトホールディングス株式会社

[本社]	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-2 古賀オールビル6階
[代表者]	代表取締役会長兼社長 若山 健彦
[設立年月日]	1956年12月17日
[上場証券取引所]	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)



資本金	1,062,673千円
拠点	4か国13拠点
役職員数	約580名 (連結)

# グループ会社

国内10社、海外2社



サンマックス・テクノロジーズ株式会社  
メモリーモジュール事業

PRINCETON

株式会社プリンストン  
テレワークソリューション事業  
デジタルデバイス周辺機器事業

MINATO

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社  
デバイスプログラミング・  
ディスプレイソリューション事業  
インテリジェント・ステレオカメラ事業

Explorer

株式会社エクスプローラ  
エレクトロニクス設計事業

G.WORKER

ジー・ワーカー株式会社  
モバイルアクセサリ事業

eIT

株式会社イーアイティー  
システム開発事業



Japan Joint Solutions

日本ジョイントソリューションズ株式会社  
ウェブサイト構築事業  
広告の制作プロデュース事業

(海外)

港御（上海）  
信息技术有限公司  
デバイスプログラマ

MFP  
MINATO FINANCIAL PARTNERS

ミナト・フィナンシャル・パートナーズ株式会社  
財務コンサルティング事業  
太陽光発電事業

Create together, Generate together!  
PIONEER SOFT

株式会社パイオニア・ソフト  
システム開発事業  
イーアイティーとの経営統合を目指す

ITCraft

株式会社アイティ・クラフト  
システム構築・SE派遣事業

港御（香港）  
有限公司  
デバイスプログラマ  
メモリーモジュール

(2022.2 現在)

# メモリーモジュール事業



## サンマックス・テクノロジーズ株式会社<sup>他</sup>

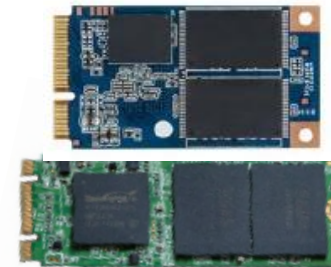
- 産業機器用途向けコンピューター記憶装置（DIMM）の設計・製造・販売ノウハウを持ち、大手電機メーカーや半導体デバイス商社等へ販売
- PC、サーバー、MFP(多機能デジタル複合機)、POS、ATMなど用途は多岐にわたり、全数検査による高品質の製品供給が強み

### DIMM（Dual Inline Memory Module）

複数のDRAMチップを基盤上に搭載したメモリーモジュールのこと。コンピューターのメインメモリとして利用。サンマックスはDIMMの主要調達部材であるDRAMの調達に優れており、DIMMの開発・製造・販売までを一貫して手掛けている。



### SSD（Solid State Drive）



## 株式会社プリンストン

- テレビ・Web会議等のデジタル会議システム関連機器の販売及び保守サービスやライセンス販売等、ソリューションサービスを展開

米国Poly社及びシスコシステムズ社の国内有力パートナーとして長年にわたり構築してきた販売・保守サポート体制が大きな強み

クラウドサービスとして、各ブランドライセンスも取り扱い



ビデオ会議用ハードウェア (Poly)



大会議室用オールインワン会議システム (Cisco)

BlueJeans

CISCO  
Partner  
Premier Certified

Cisco Webex

zoom

] pexip [

## 株式会社プリンストン

- eスポーツ関連製品、メモリー、PCやスマホ等デジタルデバイスの周辺機器販売等を展開
- 自社ECサイト「プリンストンダイレクト」( <https://www.princeton-direct.jp> ) の運営

eスポーツ市場向けのゲーミング関連



左：ゲームの世界に没入できる高スペックゲーミングヘッドセット  
右：プリンストンオリジナルゲーミングブランド「ULTRA PLUS」

「GIGAスクール」向けのツール



左：端末を落下や衝撃から守る耐衝撃ケース  
右：画面に直接ペンで記入できるiPad専用充電式タッチペン

# デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社他

**MINATO**

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

- 1956年設立の電子機器製造メーカー。
- デバイスプログラマや自動プログラミングシステムの設計・販売のほか、ROMやCPUへのプログラム書込み事業（ROM書込みサービス）、タッチパネルやデジタルサイネージ関連機器の企画・設計・販売を手掛ける。

## デバイスプログラマ

ROMやCPU等のデバイスにデータを書込むための装置。  
MATは1973年に国産初のデバイスプログラマを開発するなど、この分野のパイオニア。



## ROM書込みサービス

デバイスプログラマを利用し、デバイスへの書込みサービスを展開。「自動プログラミングシステム」では大量の書込みを自動で行うことができ、大規模受注にも対応可能。

2021年4月からサムスン株式会社、株式会社トーメンデバイスと3社共同で書込みプロジェクトを本格推進中。



# システム開発事業

## 株式会社イーアイティー／株式会社パイオニアソフト

- 株式会社イーアイティーと、2021年4月末に連結子会社化した株式会社パイオニア・ソフトが、システム開発業務を手掛ける
- 両社にて、営業面および管理面における協業を推進

株式会社イーアイティー



- システムエンジニアリングサービス  
(WEBシステム・汎用系システム・ERPの開発、データベース・ネットワークの構築等)
- 各種システムの一括受託

株式会社パイオニア・ソフト



- ERP、EC、証券業務等、大規模業務システムの受託開発事業
- セキュリティ・コンサルティング事業

# その他事業

## 成長分野で積極的に事業推進



日本ジョイントソリューションズ(株)

**ITCraft**

(株) アイティ・クラフト

- ウェブサイトの構築や広告の制作プロデュース
- セールスプロモーション、マーケティングのコンサルティング業務
- システム構築、技術者派遣

**MINATO**

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ(株)

- インテリジェント・ステレオカメラ事業
- 環境エレクトロニクス事業  
(LED照明の受注販売など)

**MFP**

MINATO FINANCIAL PARTNERS

ミナト・フィナンシャル・パートナーズ (株)

- 財務コンサルティング、ファイナンスアドバイザー関連業務
- 太陽光発電事業  
(福島、群馬にて売電中)

**G.WORKER**

ジー・ワーカー(株)

- モバイルアクセサリ等の販売

**Explorer**

(株)エクスプローラ

- ソフトウェアやハードウェアの設計・製造、自社製品の設計・製造  
(コーデック製品等)
- ODM/EMS(開発設計製造)



# その他事業（インテリジェント・ステレオカメラ）

## ミナト・アドバンスド・テクノロジーズが開発推進するカメラセンサー

- 業務提携先の東工大発ベンチャーITD Lab株式会社と連携した、測距、形状認識を高速で行う高性能2眼カメラセンサー
- 無軌道搬送機（AGV）等の自動運転、障害物センサー、産業用ロボット等の多分野での活用が期待。顧客のニーズに合わせた新型機の開発も進行中
- 株式会社アラヤとの連携により、ディープラーニング技術も導入



インテリジェント・ステレオカメラ「ISC-100VM」

# デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

ミナトホールディングス株式会社

JASDAQスタンダード：6862

<https://www.minato.co.jp/>

IRに関するお問い合わせ・各種取材のお申込みは、  
広報マーケティンググループまでお願いいたします。

TEL:03-5847-2030    MAIL:mnt\_ir@minato.co.jp

## 免責事項

- 本資料は、ミナトホールディングス株式会社並びにその子会社及び関連会社（以下合わせて「当社」又は「当社グループ」）に関する情報を提供するものであり、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って表示されています。
- 過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社の将来の実績の予測又は予想を示すものではなく、またその推定を示すものでもありません。
- 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた当社グループの現在の前提及び見解に基づくものであり、将来の業績の保証を意味するものではありません。また当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。